

‘地域ならではの’を活かす「着目したい3点」

2024.5.14

株式会社リクルート
ジョブズリサーチセンター
センター長 宇佐川 邦子



1.地域未来牽引企業のブランディング

未来牽引企業をつくる「経営者の要素」を可視化

2.地域の人事部の活用 ～箱根DMO事例～

地域、地方自治体を巻き込むからことできる

支援を受けるだけではなく、相互育成

自走に向けた1歩の踏み出し方（実績をもって予算獲得へ）

3.兼業副業 ～就業者の兼業副業意欲を活用～

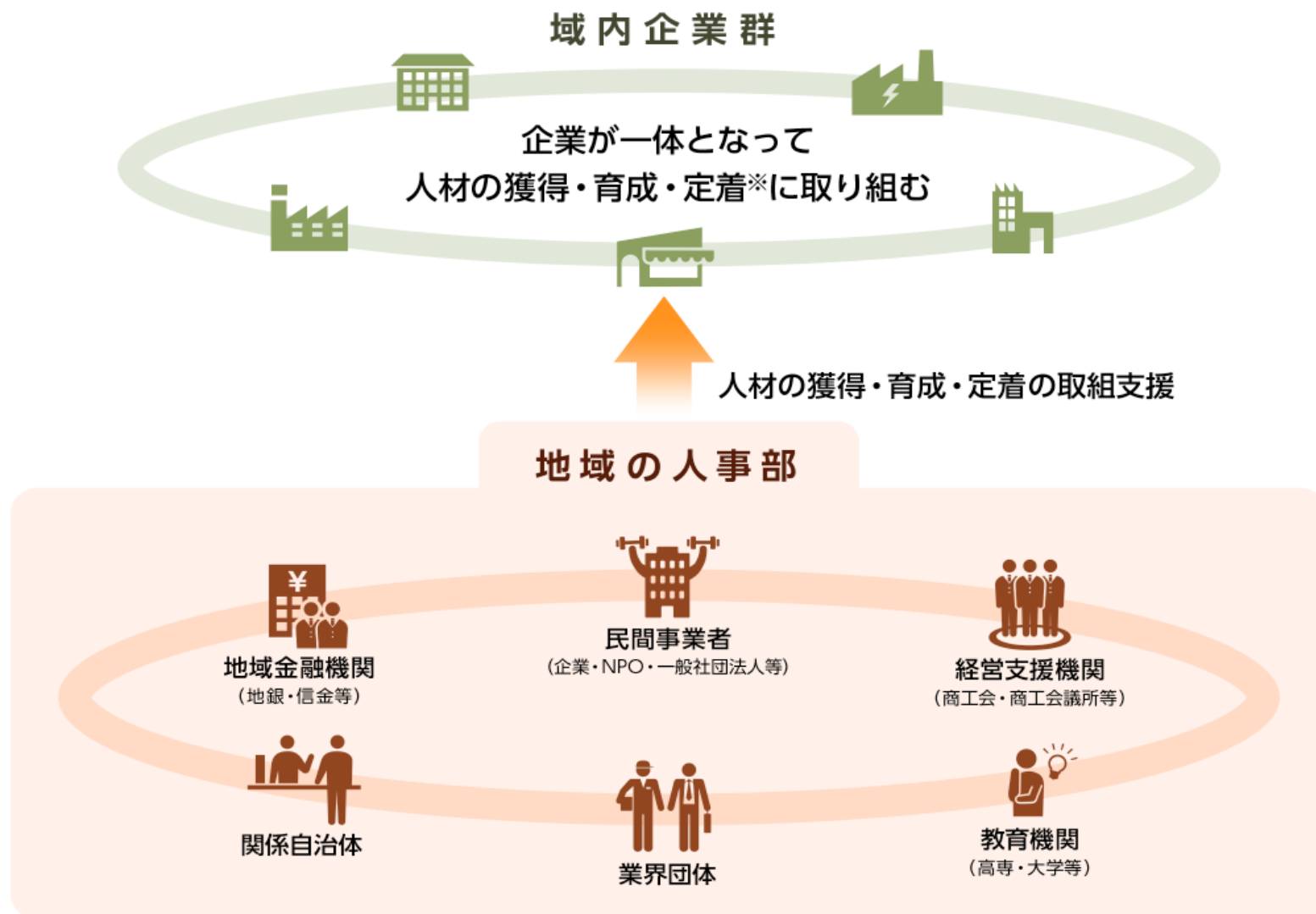
地域の人事部活用

「箱根人事部」 地域ぐるみで人材確保&定着・活躍支援

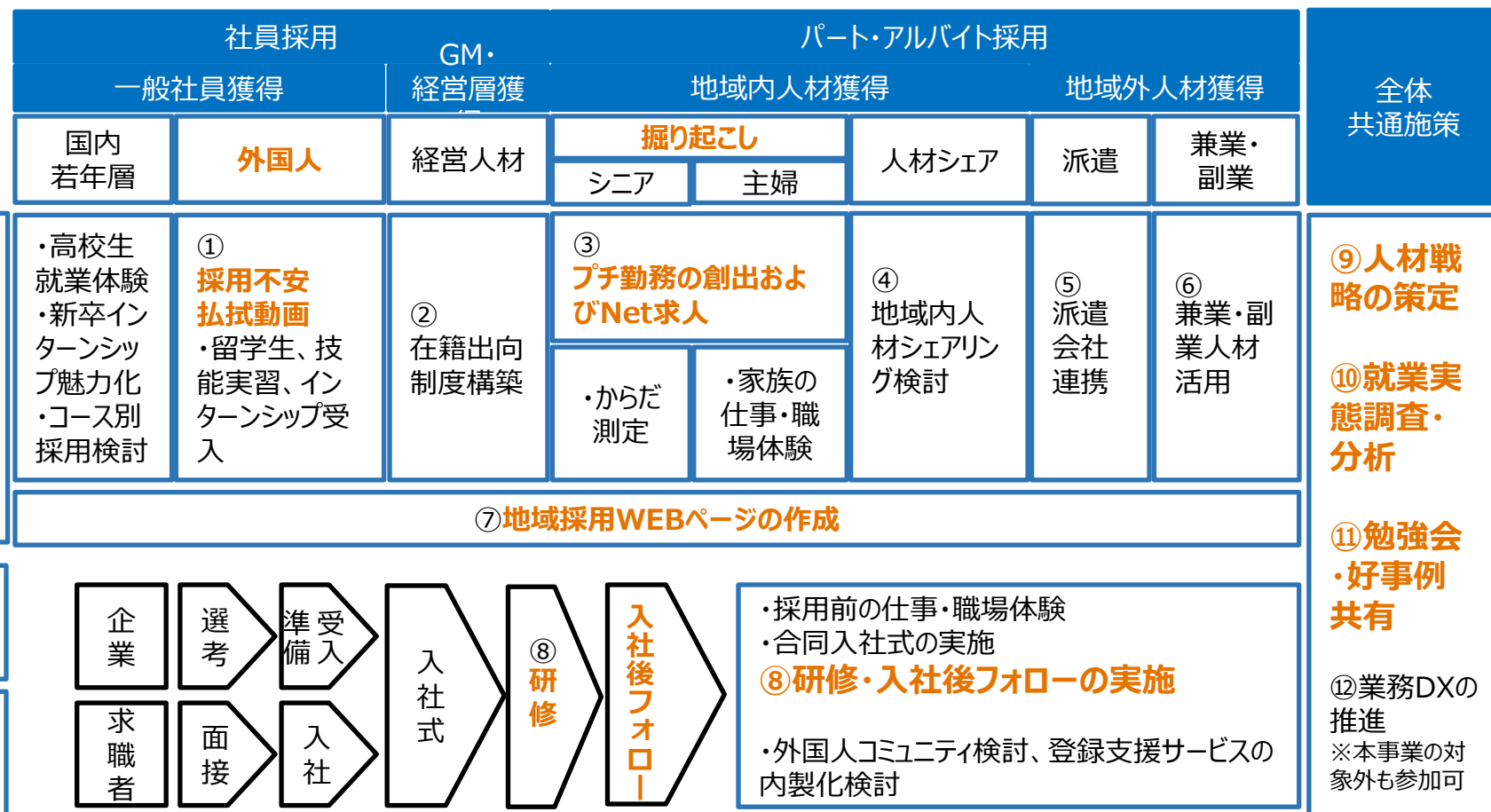
Point

- ・各社が支援を受けるだけでなく、各自の取組・工夫を共有、相互学習で促進
- ・少額予算で実績をあげ、2024年度は町の予算を獲得。自走化へ1歩前進
- ・町の事業としたことで、民業単独では困難な施策を実施

経産省「地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業補助金」活用し
1事業者では難しい人材不足解決を箱根ALLで



初年度（2023年度）は特に「掘り起こし」、「定着」を実行。



箱根宿泊施設の実情に合わせた取組を行い、成果を地域全体の人材課題解決に横展開するモデルを構築

<取り組み詳細例> 外国人採用

箱根DMO×IBS事業協働組合で採用不安払拭動画を作成し、Youtube公開。



「明日から使える！」観光業での外国人採用のノウハウ～宿泊業出



外国人採用マーケットについて（求職者側）

- ・外国人は「ベトナム、中国、フィリピン」の順で多く、宿泊・飲食サービス業は3番目に就業が多い。
- ・政府は外国人採用を促進したいが、各在留資格に課題が存在する。

【現在就業している外国人の国別割合】



【現在就業している外国人の業界別の割合】



【その他トレンド】

- ・特定技能2号の在留資格を拡大する方針を政府が示している。
- 一方で、宿泊の特定技能は11,200人の目標を掲げているが現在206人のみとなっている。（2022年12月末時点）
- ・政府の有識者会議では、技能実習生の廃止や新制度の移行が議論されている。
- ・「技術、人文、国際業務」の在留資格の就業実態を入国管理局が調査に入る可能性が高まっている。

<取り組み詳細例> 研修・勉強会

一方的なレクチャーではなく、ワークショップ主体で自ら考え、アクションにつなぐ仕立て。

	研修・勉強会	目的
1	箱根の採用市況	■人材確保の第一歩として、箱根の現状と労働市場を捉え、 箱根町の潜在労働力にフィットする仕事創出と有効な採用手法を知り、実践 する
2	新人採用・定着 ワークショップ	■プチ勤務求人での募集・受け入れに関する 意見交換 を通して、新人の定着、早期活躍のための 施策を作り、実行 する（例・業務マニュアル、受入育成計画）
3	第一回 新入社員向け 8施設19名	■新入社員の活躍促進・定着 ①自身が入社以降の棚卸をし 成長実感を得る ことで、新入社員の陥りやすい「向いていない感、将来が不安」を払拭。業務に前向きに取り組めるきっかけを作る。 ②自組織に同期が少ないと離職リスクが上がりやすいため 「地域同期」化 をはかる。
4	育成者向け 20施設28名	■管理職・育成者の 育成力を上げる ことで、 新入社員の定着・成長を促進 する ■会社全体の組織力向上のきっかけを作る
5	第二回 新入社員向け	■新入社員の活躍促進・定着 ①第一回で掲げた取組が 実行できているか振り返る 。 ②他社同期と再開「地域同期」の粘着性UP

▼チームごとに箱根町の魅力マップを作成



<取り組み詳細例> 地域の採用WEBページ

箱根町内各社の求人を集めた地域の採用WEBページ「はこワク！」作成、11月13日(月)にリリース。

構成	内容
TOPページ	・箱根の魅力 ・箱根で働く魅力 ・箱根の主な業界
「人を知る」ページ	インタビューを掲載
「会社を知る」ページ	求人を掲載 ※求人詳細は外部リンク先表示
「箱根の取組」ページ	仕事以外の情報も ・箱根町民間賃貸住宅家賃補助制度



箱根の魅力

箱根町は、富士箱根伊豆国立公園の中東にある温泉地。新鶴から車で一本、90分でアクセスすることができ、年間2,000万人が訪れています。歴史があるため、エリアによって見せる顔が異なっており、季節の移り変わりを楽しむことができます。山・温泉街はもちろん、湖・美術館もあり、何回訪れても飽きることのない魅力が広がります。

箱根で働く魅力

観光業が中心の町のため、人と関わることやおもてなしが好きな人が多いです。また、休みの日には温泉に行く人も多く、働きながらプライベートも充実させることができます。自然に囲まれながら過ごすことができるにも関わらず、都会へのアクセスもよいのも魅力で、小田原・朝箱・三島から通っている方も多いです。あなたも、日本を代表する温泉地、箱根で働いてみませんか？



箱根町民間賃貸住宅家賃補助制度

要件にあてはまる方へ、月額最大2万円を町で補助します！

- 40歳未満の新婚世帯や転入世帯（単身は対象外）
- 定住する意思があり、対象となる住宅に入居している世帯

詳細はこちら

箱根町若者世帯住宅取得補助制度

要件にあてはまる方へ、最大100万円を町で補助します！

- 40歳未満の夫婦や小学生未満のお子様のいる世帯
- 箱根町内に住宅を取得し、そこへ定住している世帯

詳細はこちら

箱根町人材確保等支援事業補助金

人材に関する支出について、最大20万円を補助します！
※新たに取組む企業様対象

- 人材確保（求人広告、採用ホームページ開設など）
- 人材育成（研修、教材など）



会社を知る

人材確保中の箱根の企業を知って、自分がそこで働きたいと感じられるかがポイント！

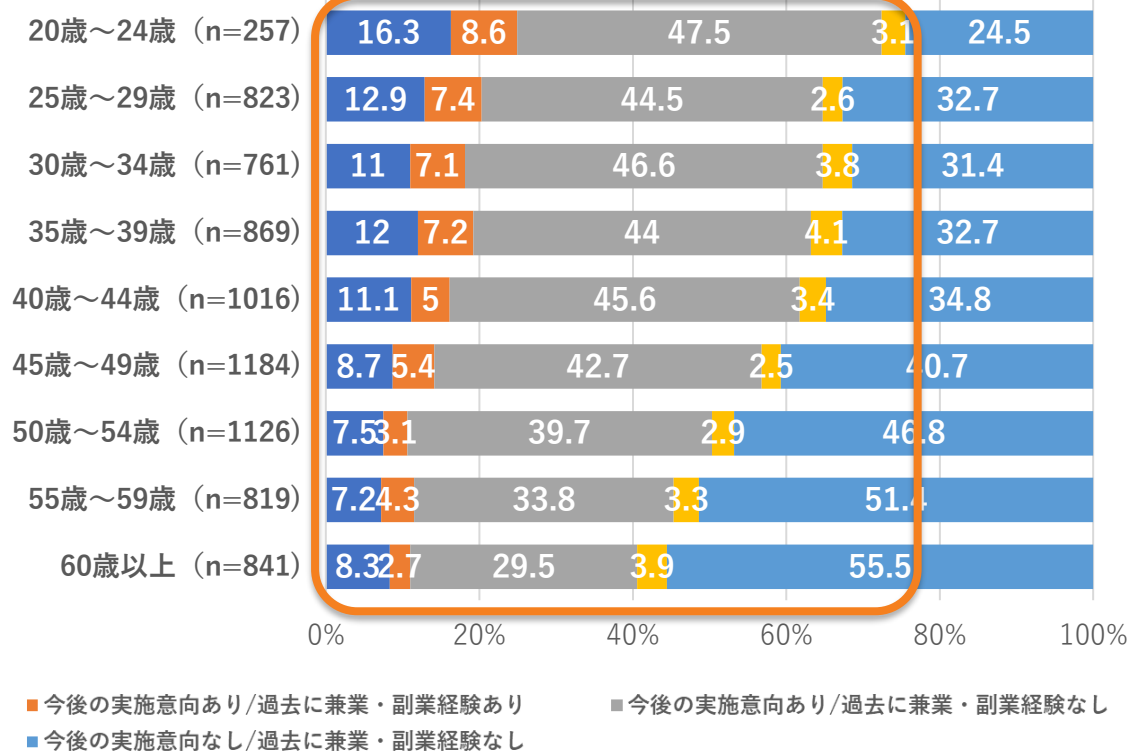
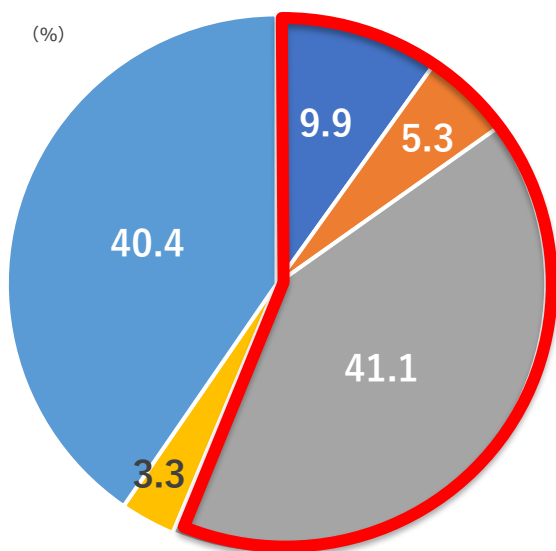


兼業副業

兼業副業意欲を活かす

兼業・副業の経験あり+意向者で5割超。若いほど多く、40代6割、50代も半数

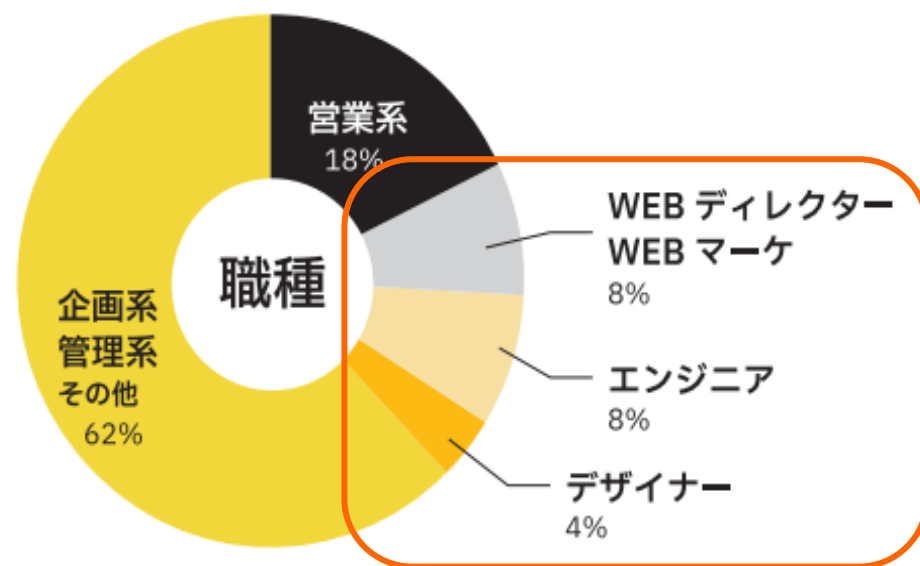
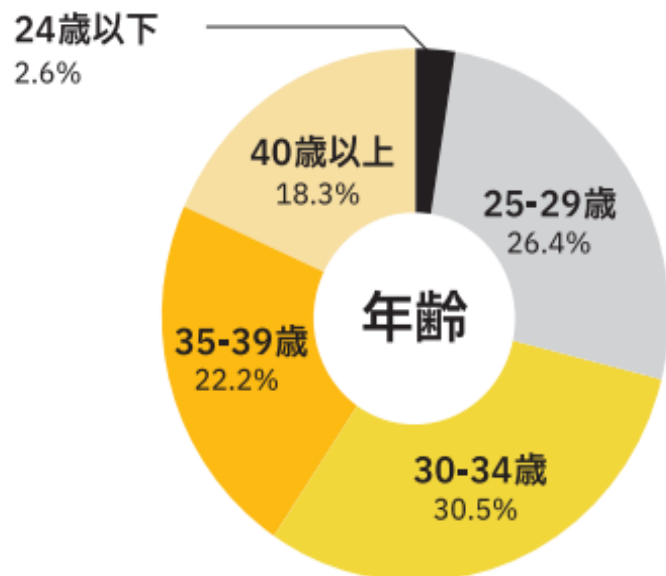
兼業副業実施・意欲（正社員のみ、SA n=7,696）



転職市場に現れない‘都市部の企画、DX人材’を獲得可能

登録者の特徴

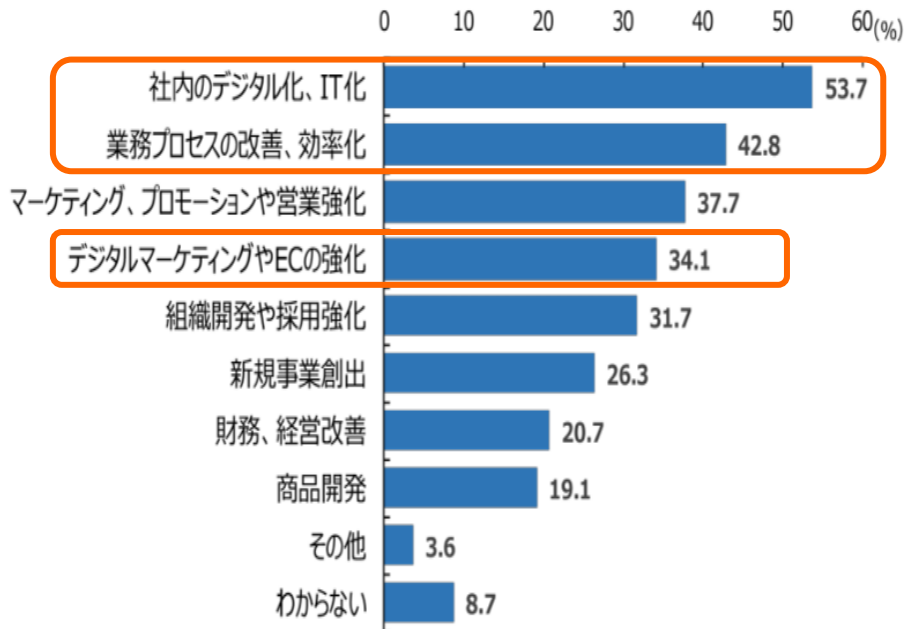
- ✓ ビジネス系職種、大手在籍者が多い。累計 約10.9万人登録（2023.10月時点）
- ✓ 利用目的、経験・強みを活かしたい、自己成長、地方創生に貢献したい



「社内のデジタル化、IT化」「デジタルマーケティング」などDX・IT関連との相性がよい

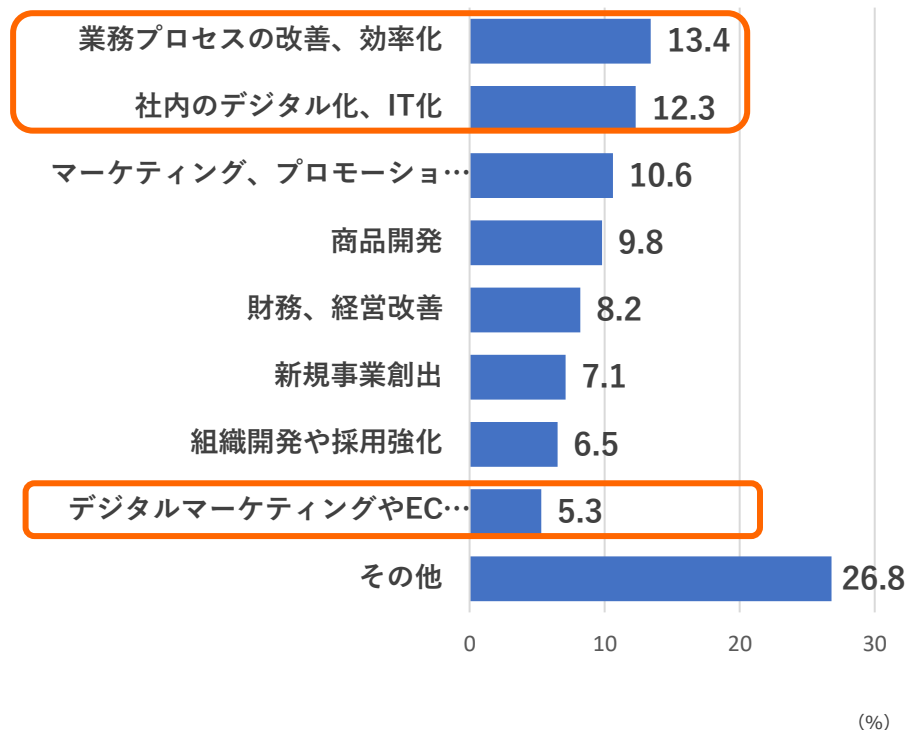
【企業】兼業・副業人材に任せている仕事の分野

社外の兼業・副業で働く人を「受け入れている」と回答した人
（複数回答n=801）



出典：労働問題リサーチセンター「社会構造の変化とキャリア保証をめぐる課題」

【兼業副業者】兼業・副業の業務分野



出典：株式会社リクルート「兼業・副業に関する動向調査2022」